

第16回との変更点 生徒作品コンクール 出展数制限→各校各部門5点まで
申込及び問い合わせ先
参加応募書 担当教諭の印

第17回全国中学生創造ものづくり教育フェア埼玉県大会

S A I T A M A 創造ものづくり教育フェア IN 春日部

実施要項



主催 埼玉県中学校技術・家庭科教育研究会
共催 春日部市教育委員会
後援 埼玉県教育委員会 さいたま市教育委員会 川越市教育委員会
期日 平成28年11月11日(金)
受付 8:30 開場9:00
会場

■ロボットチャンピオンシップ
豊かな生活を創るアイデアバック
木工チャレンジコンテスト
生徒作品コンクール
生徒研究発表会
■あなたのためのおべんとうコンクール

総合体育館「ウイング・ハット春日部」
所在地 春日部市谷原新田1557-1
電話 048-733-7575

春日部市立谷原中学校
所在地 春日部市谷原新田1507
電話 048-736-2910

交通機関(アクセス)

【鉄道】東武伊勢崎線武里駅西口下車徒歩約30分

【バス】朝日バスせんげん台駅西口からウイング・ハット春日部行き(約15分)

春日部駅西口からウイング・ハット春日部行き(約20分)

1 趣旨・目的

- ・ものづくりの発表を通して、知識や技能を習得し、活用することによりものをつくることの喜びを味わう機会とする。
- ・技術・家庭科で習得した知識や技能を生かし、ものづくりにおける設計・製作を通して、つくる喜びや仲間と共同して競技をする喜びを味わう機会とする。また、発表の場を通して、他校生徒との交流を図り、合わせて知識や技能の向上を図る。
- ・第17回全国中学生創造ものづくり教育フェアの埼玉県代表を選出する大会を兼ねるものとする。

2 来賓・審査員

- ・埼玉大学教育学部教授
- ・埼玉県教育委員会指導主事
- ・埼玉県立総合教育センター指導主事
- ・さいたま市教育委員会指導主事
- ・春日部市教育委員会指導主事
- ・埼玉県中学校技術・家庭科教育研究会会長委任者

3 出場資格

- ・県内中学校在学中のもの。

4 日程

- 会場準備及びリハーサル 11月10日（木） 18:00～21:30（予定）

会場準備、運営上の最終確認

【アリーナ会場】 ロボットチャンピオンシップ、全国創造アイデアロボットコンテスト

【中会議室1】 役員控え室

【中会議室2】 生徒研究発表会

【大会議室1・2】 作品コンクール

木工チャレンジコンテスト

豊かな生活を創るアイデアバック

- 大会当日 11月11日（金） 8:30～17:00

【受付】 8:30～ ロボットチャンピオンシップ、全国創造アイデアロボットコンテスト
あなたのためのおべんとうコンクール

9:00～ 生徒研究発表会

【競技説明】 8:50～ あなたのためのおべんとうコンクール

【開会式】 9:20～ あなたのためのおべんとうコンクール

9:30～ ロボットコンテスト及び生徒研究発表会

【審査・競技開始】

10:00～

- ・アリーナ 中学生ロボットチャンピオンシップ ～15:30
- 全国創造アイデアロボットコンテスト ～15:30

・中会議室 生徒研究発表会

～12:30

審査関係

・木工チャレンジコンテスト

・豊かな生活を創るアイデアバックコンテスト

・作品コンクール

～13:00

10:30～

・春日部市立谷原中学校 あなたのためのおべんとうコンクール

【閉会式】12:30～ 生徒研究発表会

13:40～ あなたのためのおべんとうコンクール

15:40頃 中学生ロボットチャンピオンシップ、全国創造アイデアロボットコンテスト

16:30 全体終了時間

5 実施要項詳細

(1) 生徒研究発表会について

① 発表者：埼玉県中学校技術・家庭科研究発表会各支部代表者12名

② 発表申し込み

各支部で選考を行い、埼玉大学教育学部附属中学校「木村 僚」まで申し込む。なお、発表申し込みにあたっては、別紙申込書のとおり、「支部名」、「学校名」、「発表題目」、「発表者氏名（複数の場合は全員記入）」、「学年」を記入する。

③ 〆切 平成28年10月28日（金）必着

③ その他

- ・発表当日には、発表者は発表趣旨を80部受付に提出してください。
- ・発表内容を冊子にするので、A4用紙縦書き（両面可、枚数制限なし）にまとめ、（当日配布の発表趣旨と同一でも可）10月28日（金）までに「郵送にて」電子データでの提出をお願いします。なお、応募書も提出ください（指導者の先生に事前に資料として冊子原稿をお渡しする関係でこのような方法をとらせていただきます。ご理解ならびにご協力をお願いします）。
- ・発表時間は、10分以内とします。
- ・下履きを入れる袋と上履きを持参ください。
- ・引率は保護者引率を可とします。

全国フェア県予選種目は、本年度より提出に不備ある作品に関して賞状の配布を行いませんのでご注意ください。

(2) 中学生ロボットチャンピオンシップについて

《競技について》

① トーナメント部門

○ 競技A～Hにおける共通ルール

- ・車検は、開会式終了後、各競技場で一斉に行う。
- ・競技ごとに同時進行で予選を行う。
- ・決勝トーナメントは、各競技A～Gの順で行う。

○ 競技種目

- A ワン・ツー・チャンス
- B あっち行けポイ
- C ロボット・オリエンテーリング
- D コンピュータ制御プログラミング
- E ロボサッカー
- F 全国基礎部門「はじめてのおつかい2016」
- G 全国活用部門「積んで、回して、紙コップ」
- H 全国応用部門「The 綱引2」
- I 全国動画部門

② 〆切 平成28年10月28日（金）必着

③ 提出するもの 参加応募書

④ その他

- ・引率は教師による引率を原則とします。
- ・詳しい競技種目の説明に関しては埼玉県技術・家庭科教育研究会のWEBを確認ください。

(3) 木工チャレンジコンテストについて

① 趣旨

- ・全国創造ものづくり教育フェアの実施事項に準じるものとする。
- ・各支部で選抜された代表者の技術を競う発表体験の場とする。
- ・技術・家庭科の活動内容を一般に公開していく場とする。

② テーマ

「技を極めるのではなく、発想や製作技術を評価し生活化に向けて取り組もう」

③ S A I T A M A 課題

課題 学習机の上の書籍や文具類（以下、「アイテム」と呼ぶ。）を整理収納できる作品を設計・製作する。ただし、以下の設計・製作条件を満たすものとする。

- ・整理収納したいと思うアイテムを自由に選択して、個人で設計・製作すること。
- ・木製品は、製作時間4時間以内で完成できること。
- ・使用できる材料は木材あるいは集成材の板（寸法t15×W200×L900：数量2枚）と合板1枚（t4×W450×L450：数量1枚）とする。なお、木材及び木質材料の樹種は自由。これら以外は接合金具（釘、木ねじ、ボルトナット、ノックダウン金具、補強金具、蝶番）のみ使用可。
- ・製作品の大きさは、3辺の合計長さが160cm以内とする。
- ・製作工程において、さしがねによるけがき、両刃のこぎりによる切断、平かんなによる部品加工、くぎ打ちによる組み立て、直角定規等による検査、紙やすりによる仕上げ作業を含むこと。

④ 提出するもの

- a 製作レポート（A4）
- b 構想図（縮小コピー：裏面）
- c 参加応募書

④ 〆切 平成28年10月末日

(4) 「豊かな生活を創るアイデアバック」コンクールについて

① 趣旨

- ・布による製作品の加工技術やデザイン、創造性を競う。

② S A I T A M A 課題

- ・課題は、「バック」とする。
- ・製作した「バック」は、ジッパー付きのビニール袋に入れ、学校名、生徒氏名を明記する。
- ・写真や資料などの画質が審査に影響する場合がありますので、写真や資料などの画像を貼り付ける場合は、はっきりと見やすいものを使用してください。

③ 提出するもの

- a レポート「豊かな生活を創るアイデアバック」
- b バックの作品
- c 参加応募書

④ その他

- ・詳細に関しては全国フェア実施要項を参照してください。

(5) 「あなたのためのおべんとう」コンクールについて

① 趣旨

- ・食べてもらう人のことを考えたお弁当づくりを通して、身近な人とのかかわりの大切さや食の重要性を知る。

② S A I T A M A 課題

- ・趣旨に則ったお弁当を製作し、レポートにまとめる。
- ・写真や資料などの画質が審査に影響する場合がありますので、写真や資料などの画像を貼り付ける場合は、はっきりと見やすいものを使用してください。

③ 提出するもの

- a 学校や家庭で作成したおべんとうについてのレポート
- b 参加応募書

④ レポート提出期間 平成28年10月3日(月)～10月7日(金)

⑤ その他

- ・第1次審査(10月中旬)後に春日部市立谷原中学校で実技審査と発表会等を実施します。
- ・詳しい説明に関しては埼玉県技術・家庭科教育研究会のWEBを確認ください。
- ・レポート用紙は全国のものに準じてください。
- ・引率は教師による引率を原則とします。

(6) 生徒作品コンクール

① 趣旨

- ・埼玉県内の中学生が授業を通じて習得した知識や技能を活用し、工夫・創造して製作した作品を展示し、生徒相互で「ものづくり」の喜びを味わい、意欲高揚の機会とする。

・第16回全国中学生創造ものづくり教育フェアの埼玉県代表を選出する大会を兼ねるものとする。

② 応募について

《資格》中学校に在学している生徒の製作した作品である。

《大きさの制限》縦+横+高さ=160cm以下、重量25Kg以下の作品

《作品部門》Ⅰ 授業内製作作品部門（技術・家庭科の授業時間内で製作した作品）

Ⅱ 自主製作作品部門（授業での知識や技能を生かし例えば長期休業中など）

③ 提出するもの

a 審査用紙

b 参加応募書

④ 〆切 平成28年10月28日（金）

⑤ その他

・出展数は各部門5点までとします。

・詳しい説明に関しては埼玉県技術・家庭科教育研究会のWEBを確認ください。

6 申込及び問い合わせ先

○ SAITAMA創造ものづくり教育フェア全般について

熊谷市立大里中学校 教諭 高木 聰

〒360-0133 熊谷市中曽根815-1

TEL 0493(39)0310 FAX 0493(39)0916

○ 中学校技術・家庭科生徒研究発表について

埼玉大学教育学部附属中学校 教諭 木村 僚

〒336-0021 さいたま市南区別所4-2-5

TEL 048(862)2214 FAX 048(865)6484

○ 中学生ロボットチャンピオンシップについて

白岡市立白岡中学校 教諭 石島 隆志

〒349-0218 白岡市白岡1647-1

TEL 0480(93)2771 FAX 0480(93)2772

○ 木工チャレンジコンテスト、パソコン入力コンクールについて

さいたま市立与野南中学校 教諭 林 清孝

〒338-0012 さいたま市中央区大戸2-6-25

TEL 048(852)1579 FAX 048(852)1937

○ 豊かな生活を創るアイデアバックについて

行田市立西中学校 教諭 荻原 詩歩

〒361-0056 行田市持田600

TEL 048(553)1434 FAX 048(553)1302

○ あなたのための「おべんとう」について

所沢市立北野中学校 教諭 八木 晶子

〒359-1152 所沢市北野2-4-10

TEL 042(948)6004 FAX 042(948)6007

○ 生徒作品コンクールについて

鶴ヶ島市立藤中学校 教諭 大野 久生

〒350-2206 鶴ヶ島市藤金272-1

TEL 049(286)9546 FAX 049(271)4290

7 申し込み方法

- 要項のFAX連絡書に必要項目を記入し、各申込先へ申し込みください。
- 「第17回全国中学生創造ものづくり教育フェア参加応募書」を必ず提出してください。

第17回全国中学生創造ものづくり教育フェア参加応募書

全日本中学校技術・家庭科研究会会長 様

各ブロック中学校技術・家庭科研究会会長 様

埼玉県中学校技術・家庭科教育研究会会長 様

出場部門			
ふりがな			
チーム名・作品名			
ふりがな			
学校名			
ふりがな		学年	第 学年
児童生徒氏名		性別	

保護者 自署欄	<p><u>標記の大会へ参加することを承諾します。</u> 大会の様子や作品・写真・映像及び学校名、出場者名がWeb・報告書等への掲載、公官庁、報道機関に資料提供されることを承諾いたします。また、全国大会においては教員の引率がない場合、個人で保険に加入し保護者が引率を行います。 平成 年 月 日 <u>保護者名</u> 印</p>		
学校TEL			
学校FAX			
学校住所	〒		
学校公用E-mail			
当日緊急連絡			
ふりがな			
担当教諭	印		
参加児童生徒 在籍校長名	<p>標記の大会に参加することを承諾いたします。 平成 年 月 日 中学校 校長 印</p>		

注意事項

入賞した場合は、この応募書の文字通りに賞状を作成いたします。楷書で丁寧に記入ください。特に「とめ」「はね」「はらい」などを正確にお願いします。学校名・児童生徒名の「ふりがな」、学年、緊急連絡先も同様をお願いします。また、賞状のサイズによっては「学校名」のみの記入になりますのでご了承ください。

第17回全国中学生創造ものづくり教育フェア参加応募書 記入上の注意

全日本中学校技術・家庭科研究会会長 様
 各ブロック中学校技術・家庭科研究会会長 様
 埼玉県中学校技術・家庭科教育研究会会長 様

生徒作品コンクール
 木工チャレンジコンテスト
 「豊かな生活を創るアイデアバック」コンクール
 「あなたのためのおべんとう」コンクール
 創造アイデアロボットコンテスト(〇〇部門) を記入

出場部門			
ふりがな			
チーム名・作品名			
ふりがな			
学校名			
ふりがな	学年	第	学年
児童生徒氏名	性別		

= 注意 =
 参加児童生徒1名につき1枚必要になる書類です。作品名、学校名、児童生徒氏名はこの欄に記述されたものが全国大会全体閉会式で表彰される賞状に筆耕されます。なお応募書の文字が間違っていたり未提出の場合に書き直し等の申出を受け付けてもらえません。「とめ」「はね」「はらい」を正確に、ていねいな文字で不備やミスのないようお願いいたします。

保護者 自署欄	<p><u>標記の大会へ参加することを承諾します。</u> 大会の様子や作品・写真・映像及び学校名、出場者名がWeb・報告書等への掲載、公官庁、報道機関に資料提供されることを承諾いたします。また、全国大会においては教員の引率がない場合、個人で保健に加入し保護者が引率を行います。 平成 年 月 日 保護者名 _____ 印</p>		
学校TEL	保護者印の押し忘れのないようご注意ください。		
学校FAX			
学校住所	〒	<p>県(saitama創造ものづくり教育フェア)に提出した書類で全国大会までの出場(ブロック、全国出場時の再作成がなくなります。)が可能になりました。その分、途中での修正がしづらくなります。必ず県、ブロック、全国の各部門の窓口担当者をご確認ください。</p>	
学校公用E-mail			
当日緊急連絡			
ふりがな			
担当教諭	<p>第16回の生徒作品コンクールより「出場における承認者」という意味で、担当教諭印が必然になりました。押印忘れのないようご注意ください。</p>		印
参加児童生徒 在籍校長名	<p><u>標記の大会に参加することを承諾いたします。</u> 平成 年 月 日 中学校 校長 _____ 印</p>		印

注意事項

入賞した場合は、この応募書の文字通りに賞状を作成いたします。楷書で丁寧に記入ください。特に「とめ」「はね」「はらい」などを正確にお願いします。学校名・児童生徒名の「ふりがな」、学年、緊急連絡先も同様をお願いします。また、賞状のサイズによっては「学校名」のみの記入になりますのでご了承ください。

F A X 連絡書

平成 2 8 年 月 日 ()

送信先

埼玉大学教育学部附属中学校 木村 僚 様

件名：生徒研究発表会申込

【通信欄】

支 部 名			
ふりがな 学 校 名			
学校 T E L		学校 F A X	
発 表 題 目			
ふりがな 発 表 者 名 (学 年)			
プロジェクターの有無【コンピュータは、各学校でご用意ください。】 必 要 ・ 不 要			

注意事項

賞状筆耕に伴い、楷書で丁寧に記入ください。特に「とめ」「はね」「はらい」などを正確にお願いします。学校名・生徒名の「ふりがな」も忘れずにお願いします。

送信者氏名

F A X 連絡書

平成 2 8 年 月 日 ()

送信先 (問い合わせ先を記入)

様

件名 : S A I T A M A 創造ものづくり教育フェア参加申込

【通信欄】

出場項目 □ に ✓ (し点)	<input type="checkbox"/> ロボットチャンピオンシップ (_____ 部門) <input type="checkbox"/> 豊かな生活を創るアイデアバック <input type="checkbox"/> 木工チャレンジコンテスト <input type="checkbox"/> 生徒作品コンクール <input type="checkbox"/> あなたのためのおべんとうコンクール
学 校 名	
生 徒 氏 名	
学校 T E L	
学校 F A X	
担当教諭名	

送信者氏名